

どこでも写真管理 Plus⁺

Android 版・iOS 版 共通 どこでも写真管理 Plus 工事写真撮影 操作手順書 RICOH Drive 使用

EX-TREND武蔵 写真管理、黒板作成・連携ツール、
どこでも写真管理Plusでデータを連携して、
電子小黒板機能付き工事写真を撮影する操作を説明します。

※Android画面で解説しています。
iOSでも同様に操作できます。

※解説内容がオプションプログラムの説明である場合があります。
ご了承ください。

注意 使用時の注意点

下記を超えると、端末のメモリー等の仕様にもよりますが動作が不安定となる可能性がありますので、それ以下で運用することをお奨めします。

- ・黒板総数：200枚以下
- ・撮影済み写真は200枚程度を最大として、随時PCへ保存

目次

Android版・iOS版 共通 どこでも写真管理Plus 工事写真撮影 操作手順書 RICOH Drive使用

1. どこでも写真管理Plusについて _____	1
どこでも写真管理Plusの概要 _____	1
黒板・写真データを転送する方法 _____	2
2. 写真管理で工種分類を作成する _____	3
工種分類を作成する _____	3
3. 黒板作成・連携ツールで黒板データを作成する _____	5
黒板作成・連携ツールを起動する _____	5
黒板を作成する _____	7
黒板の情報を設定する _____	9
豆図を設定する _____	10
4. 黒板データをどこでも写真管理Plusに転送する _____	12
工事データを作成する _____	12
黒板データを転送する _____	13
5. どこでも写真管理Plusで写真を撮影する _____	15
RICOH Driveと連携する _____	15
黒板データを取り込む _____	17
電子小黒板付き写真を撮影する _____	19
6. 撮影した写真を写真管理に取り込む _____	22
写真を出力する _____	22
写真を取り込む _____	24

1

どこでも写真管理 Plus について

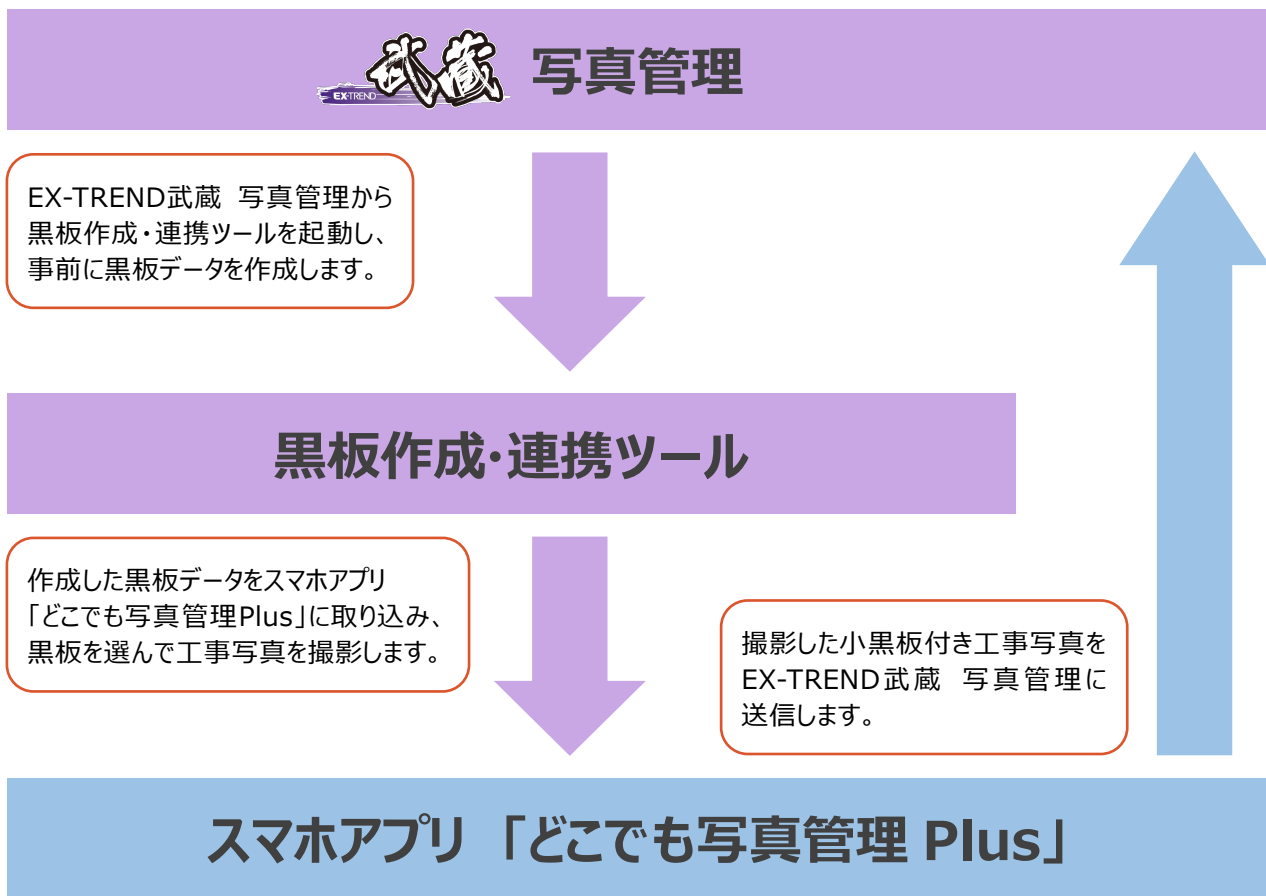
どこでも写真管理Plusについて解説します。

どこでも写真管理Plusの概要

EX-TREND武蔵 写真管理、黒板作成・連携ツール、スマホアプリ「どこでも写真管理Plus」の連携について説明します。

どこでも写真管理Plusとは、電子小黒板機能付き工事写真撮影アプリです。

※クラウド連携を使用する場合は「CIMPHONY Plus」または「RICOH Drive」の契約が必要です。

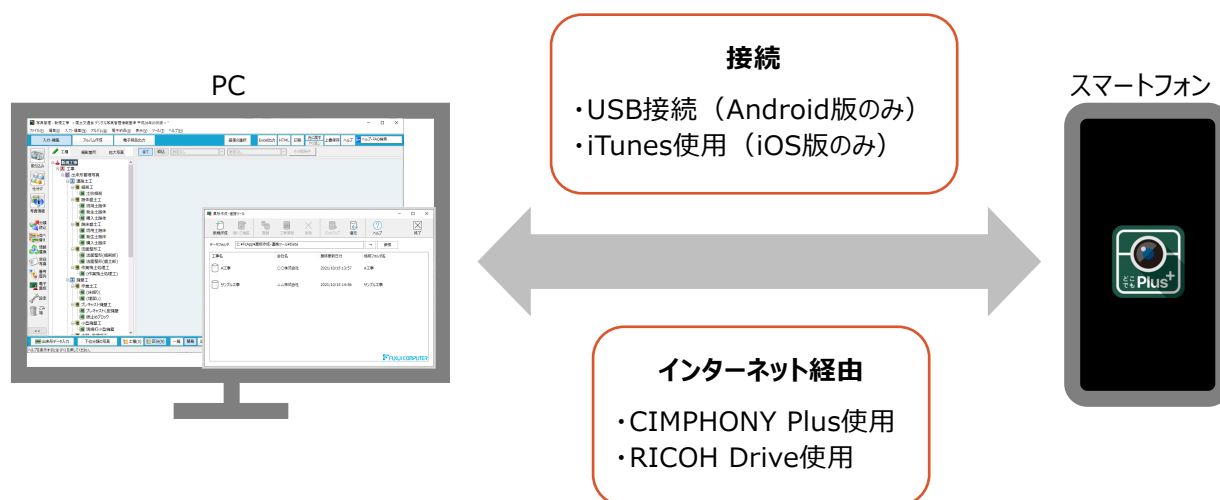


黒板・写真データを転送する方法

PCとスマートフォン間で黒板や写真データを転送する方法は4通りあります。

- ・USBで接続する（Android版のみ）
- ・CIMPAPHONY Plusを使用する（Android版・iOS版 共通）
- ・RICOH Driveを使用する（Android版・iOS版 共通）
- ・iTunesを使用する（iOS版のみ）

インターネットを経由する（CIMPAPHONY Plusを使用する、RICOH Driveを使用する）と、PCとスマートフォンが離れた場所（事務所と現場など）にある場合でも黒板や写真データを転送できます。



2

写真管理で工種分類を作成する

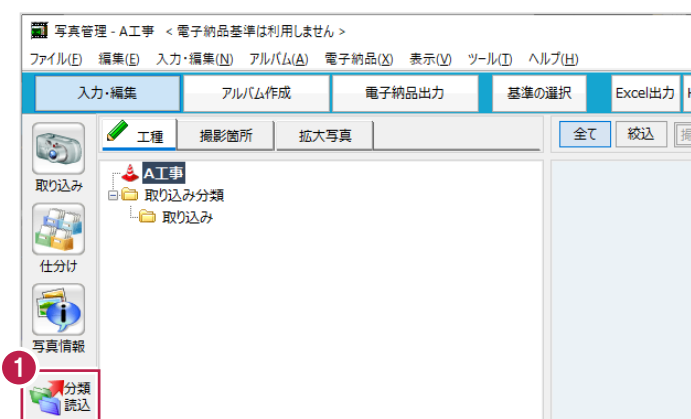
EX-TREND武蔵 写真管理で工種分類を作成します。

工種分類を作成する

EX-TREND武蔵 写真管理で電子小黑板に使用する分類を作成します。

ここでは、工事テンプレートから分類を読み込みます。

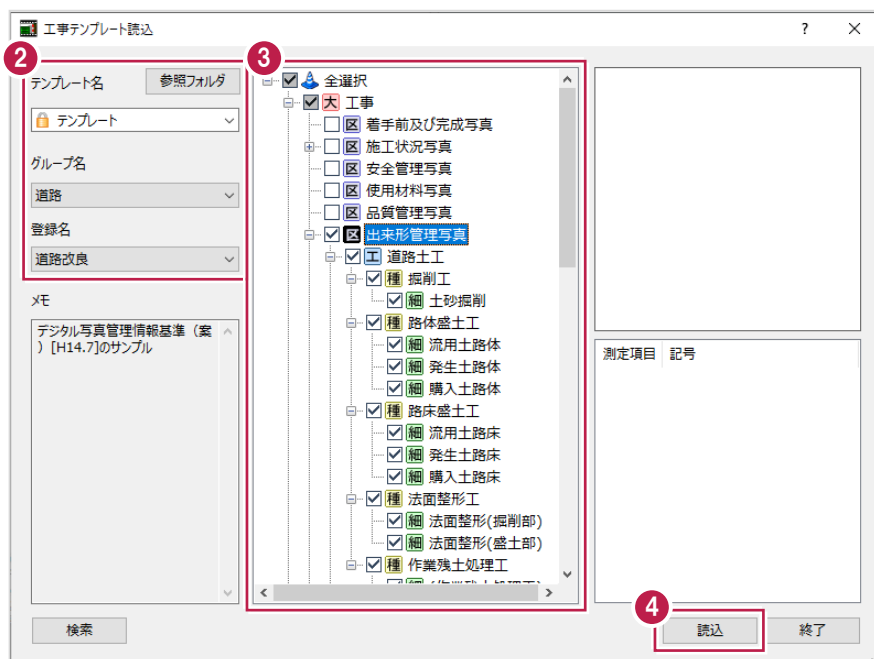
1. 写真管理の [分類読込] をクリックします。



2. [テンプレート名] [グループ名] [登録名] を選択します。

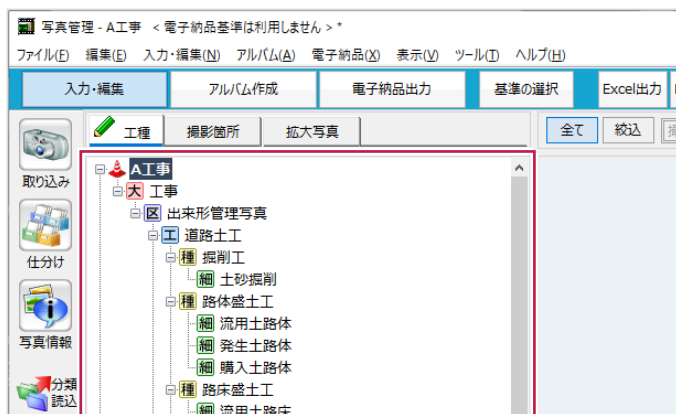
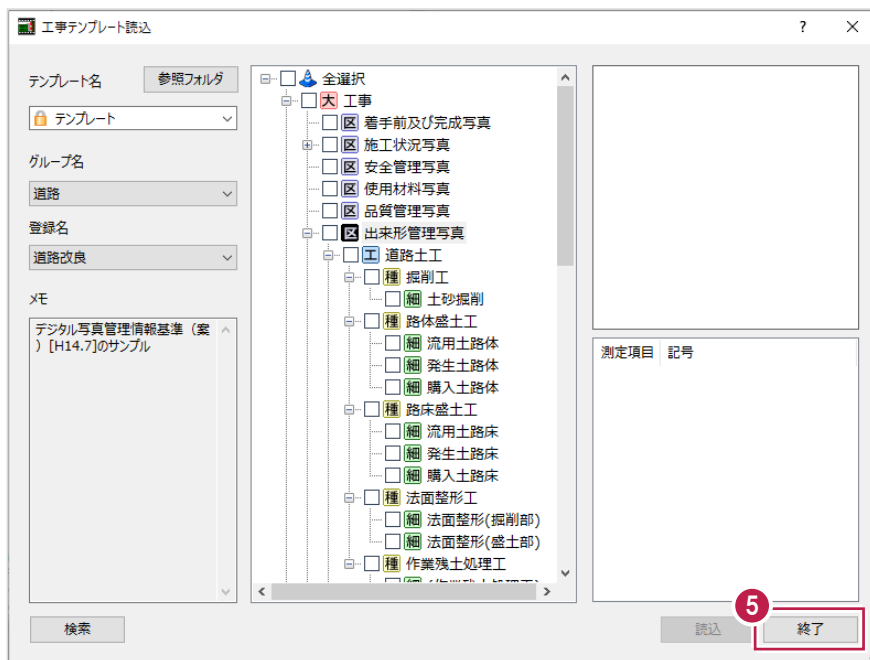
3. 読み込む分類をオンにします。

4. [読込] をクリックします。



5. [終了] をクリックします。

分類が読み込まれます。



3

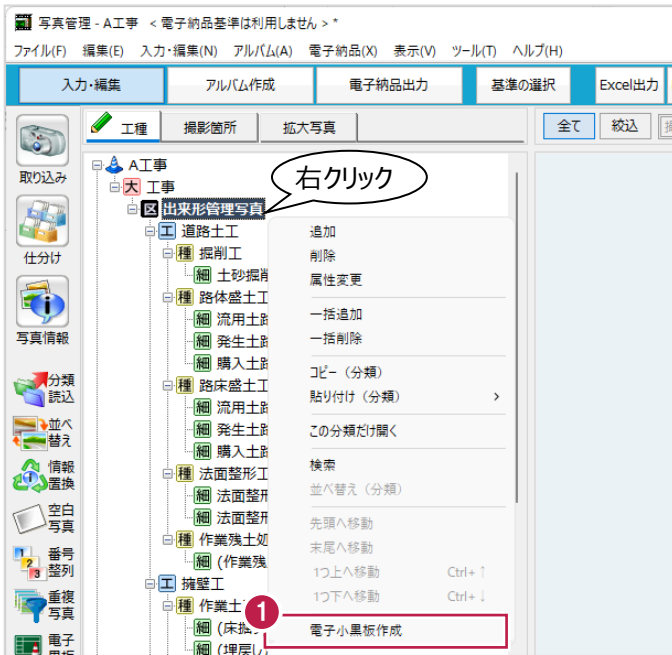
黒板作成・連携ツールで黒板データを作成する

黒板作成・連携ツールで黒板データを作成します。

黒板作成・連携ツールを起動する

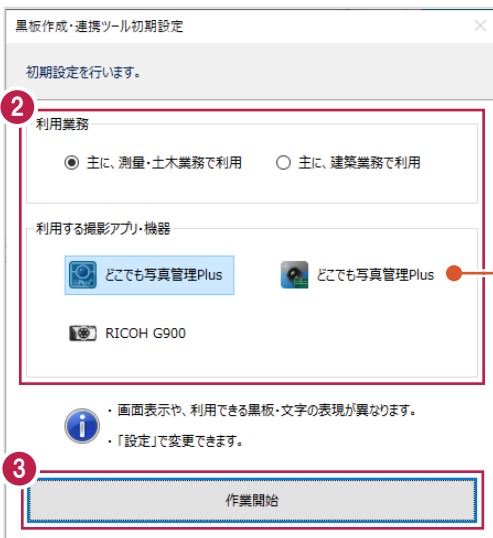
EX-TREND武蔵 写真管理から黒板作成・連携ツールを起動します。

1. 写真管理の分類ツリーで右クリックして [電子小黒板作成] をクリックします。



2. 黒板作成・連携ツールをインストール後に初回起動する際は、初期設定を行います。

3. [作業開始] をクリックします。



[利用する撮影アプリ・機器] は [どこでも写真管理Plus] (左側) を選択してください。

4. 工事内で初回起動する際は、[工事名] [河川路線名] [受注者名]を確認して[OK]をクリックします。
黒板作成・連携ツールに工事データが作成され、メイン画面が開きます。

新規作成

新しく工事データを作成し、作業を開始します。

工事名 A工事

河川路線名 A路線

受注者名 〇〇株式会社

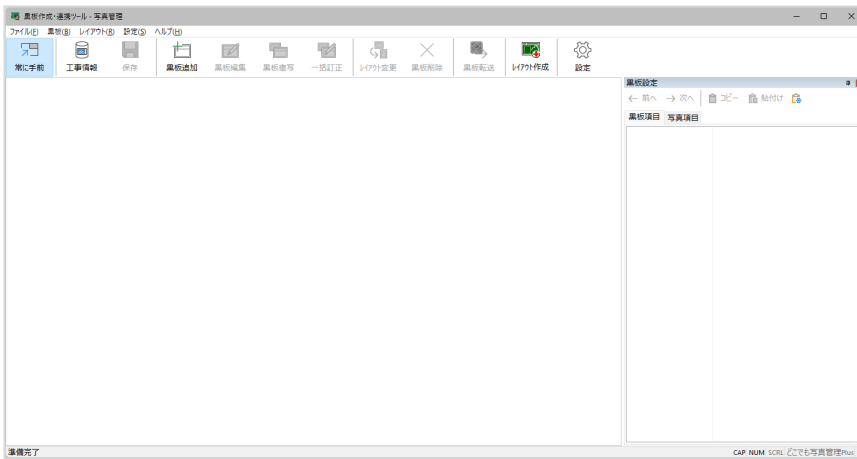
4 OK キャンセル

【工事名】：工事情報の【工事名称】が反映されます。

【河川路線名】：工事情報の【河川路線名等】が反映されます。

【受注者名】：工事情報の【受注者名】が反映されます。

各項目は黒板の「工事名」「河川路線名」「受注者名」に連動します。



黒板を作成する

EX-TREND武蔵 写真管理の分類や撮影箇所を利用して、黒板を作成します。

1. 写真管理で分類を選択します。



2. 黒板作成・連携ツールで [黒板追加] をクリックします。



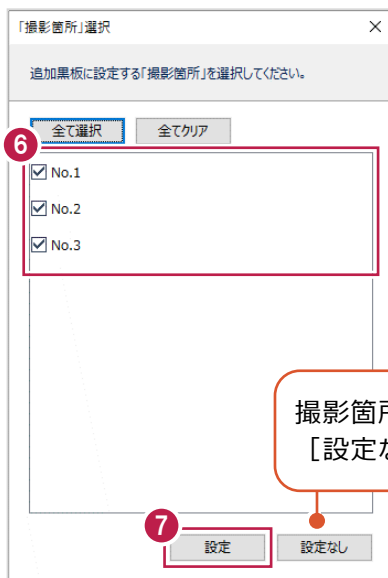
3. 追加する黒板数を入力します。

4. 黒板レイアウトを選択します。

5. [OK] をクリックします。



6. 写真管理に撮影箇所が登録されている場合は、黒板に撮影箇所を設定できます。
設定する撮影箇所をオンにします。
7. [設定] をクリックします。
黒板が追加されます。

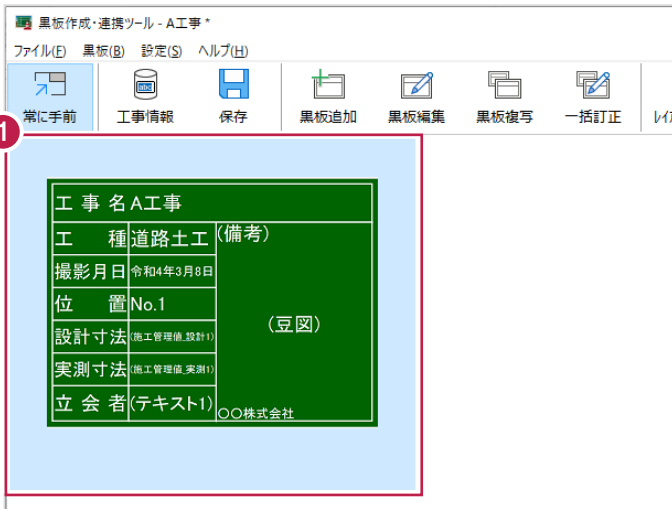


選択した分類の黒板が表示されます。
黒板には分類と撮影箇所が反映されます。

黒板の情報を設定する

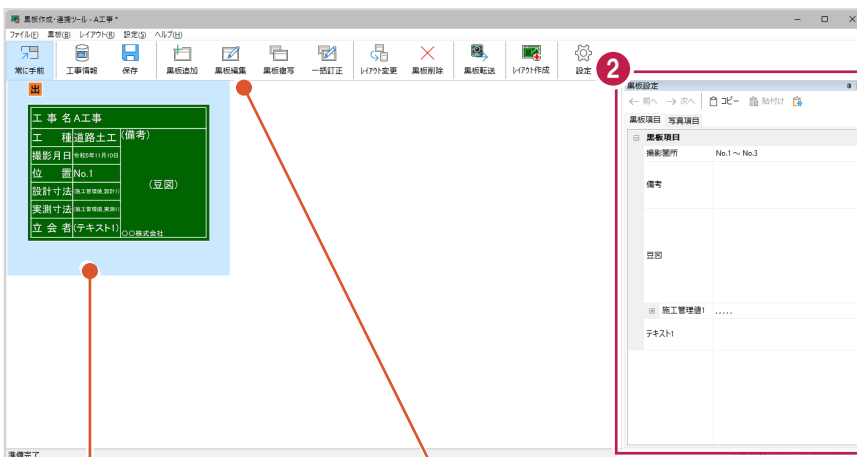
黒板の情報を設定します。

1. 黒板を選択します。



2. メイン画面右側の [黒板設定] で黒板の情報を設定します。

(詳細は黒板作成・連携ツールのヘルプを参照してください。)



設定した内容は、
黒板サムネイルに反映されます。

黒板のレイアウトを編集する場合は、
[黒板編集] を行ってください。

豆図を設定する

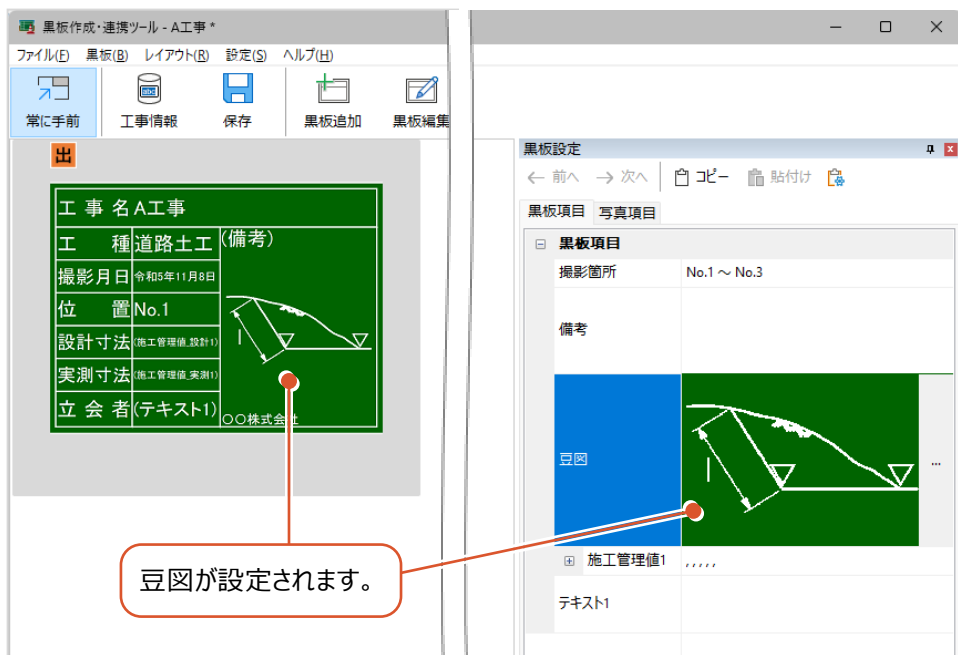
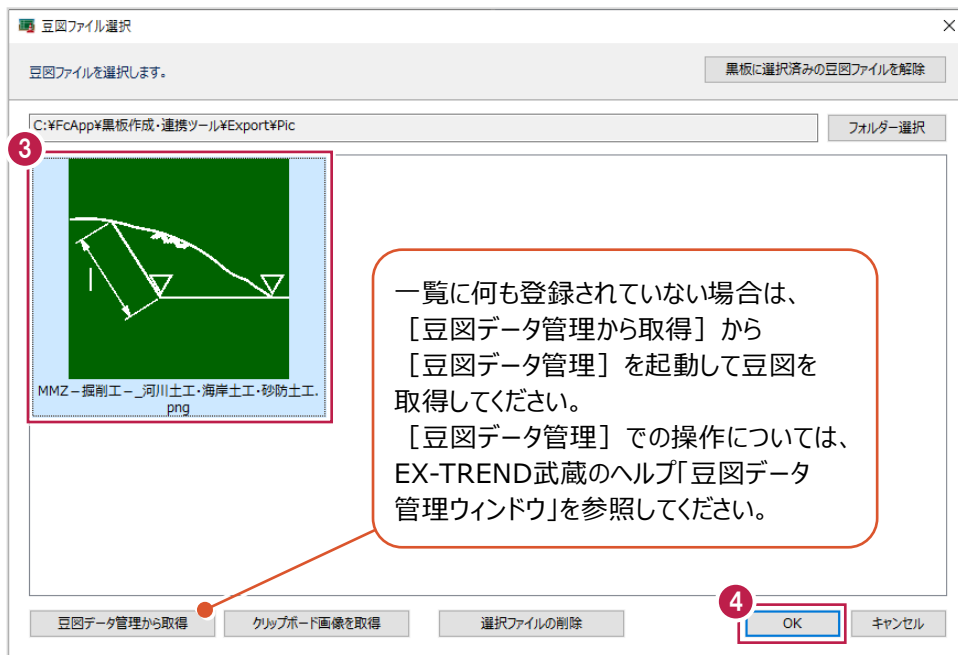
必要に応じて豆図を設定します。

1. [黑板設定] で [豆図] の項目をクリックします。
2. [...] をクリックします。



3. 豆図を選択します。

4. [OK] をクリックします。



4

黒板データをどこでも写真管理 Plus に転送する

黒板データをスマホアプリ「どこでも写真管理Plus」に転送します。

工事データを作成する

スマホアプリ「どこでも写真管理Plus」で黒板データの転送先となる工事データを作成します。

1. スマートフォンで [どこでも写真管理Plus] を起動し、メインメニュー画面のメニューボタンをタップします。
2. [工事の新規作成] をタップします。



3. [工事名] [河川路線名] [受注者名] を入力します。
4. [作成] をタップします。
作成した工事が表示されます。



黒板データを転送する

RICOH Driveを使用して、黒板データをインターネット経由でどこでも写真管理Plusに転送します。

1. 写真管理で分類を選択します。
2. 黒板作成・連携ツールで黒板を選択します。
(ctrlキーで複数選択して転送することもできます。)
3. [黒板転送] をクリックします。

下位分類の黒板をまとめて転送する場合は、
「下位分類の写真」をオンにして黒板を
表示してください。

黒板作成・連携ツール - A工事 *

黒板転送

「設定」の「利用する撮影アプリ・機器」は「どこでも写真管理Plus」(左側)を選択して操作してください。

4. [RD接続設定] をクリックします。

接続先を選択

接続先を選択します。

USB

CIMPHONY Plus

RICOH Drive

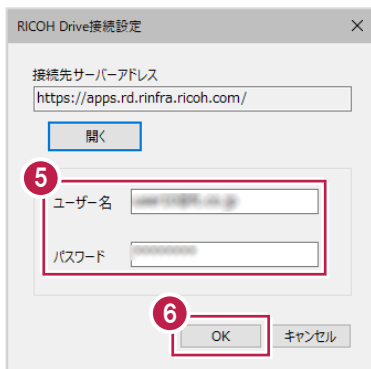
iTunes

RD 接続設定

OK キャンセル

5. [ユーザー名] [パスワード] を入力します。

6. [OK] をクリックします。



7. 接続先は [RICOH Drive] を選択します。

8. [OK] をクリックします。



9. [OK] をクリックします。

データが転送されます。



5

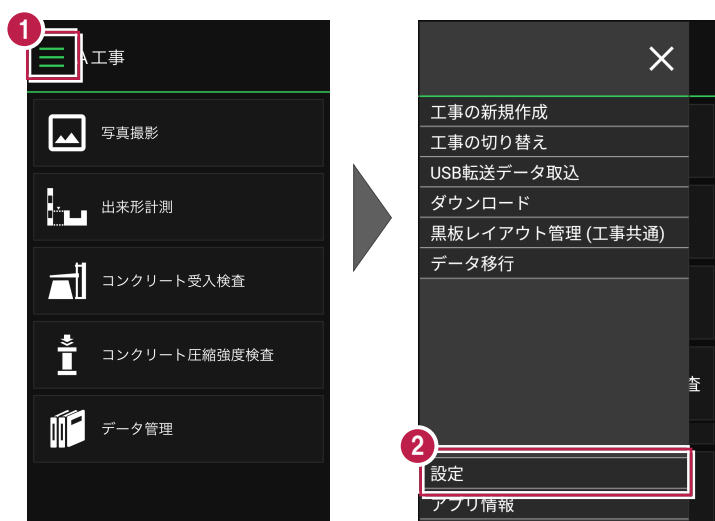
どこでも写真管理 Plus で写真を撮影する

黒板作成・連携ツールから転送した黒板を使用して、どこでも写真管理Plusで工事写真を撮影します。

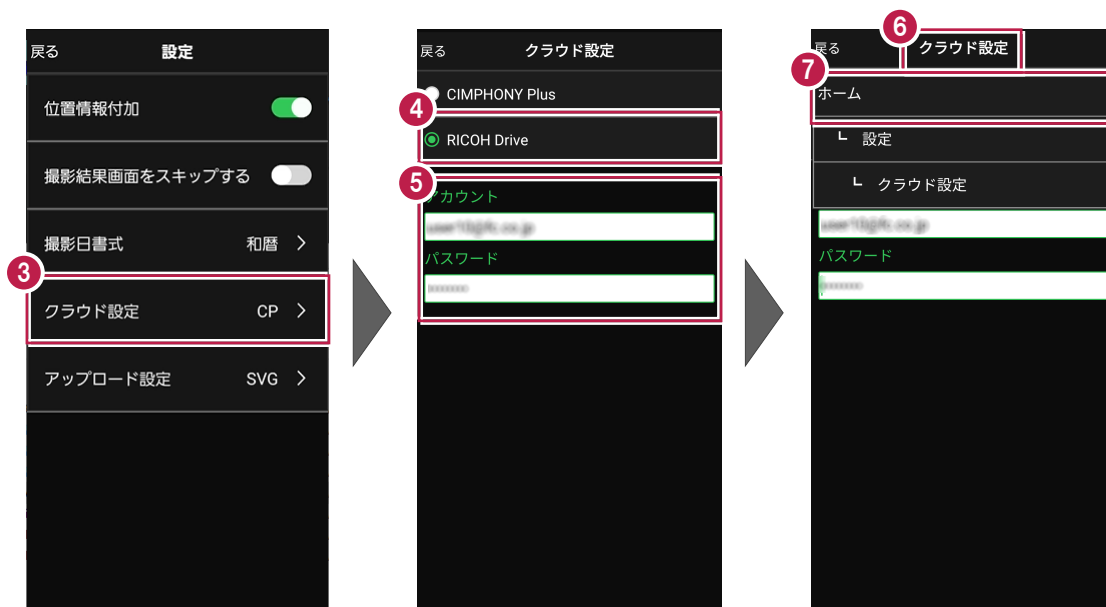
RICOH Driveと連携する

どこでも写真管理Plusで連携するRICOH Driveのアカウントを設定します。

1. どこでも写真管理Plusで作成した工事のメインメニュー画面を開き、メニューボタンをタップします。
2. [設定] をタップします。



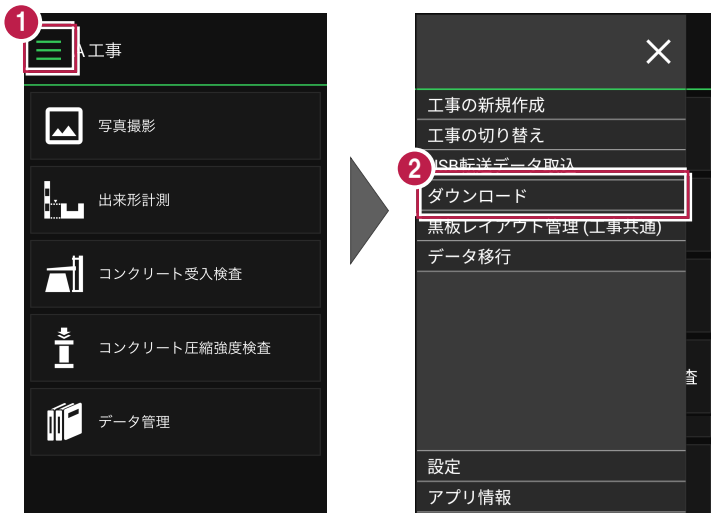
3. [クラウド設定] をタップします。
4. [RICOH Drive] を選択します。
5. [アカウント] [パスワード] を入力します。
6. [クラウド設定] をタップします。
7. [ホーム] をタップして、メインメニュー画面に戻ります。



黒板データを取り込む

黒板作成・連携ツールから転送した黒板データを取り込みます。

1. メニューボタンをタップします。
2. [ダウンロード] をタップします。



3. 取り込むデータを選択します。
4. [実行] をタップします。



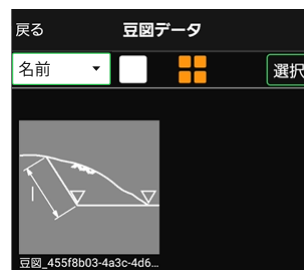
5. [閉じる] をタップします。
データが取り込まれます。



補足

取り込んだ黑板报・豆図データを確認する

取り込んだ黑板报・豆図データは [データ管理] の [黑板报] [豆図] で確認・削除できます。



電子小黑板付き写真を撮影する

電子小黑板付き写真を撮影します。

1. メインメニュー画面で [写真撮影] をタップします。

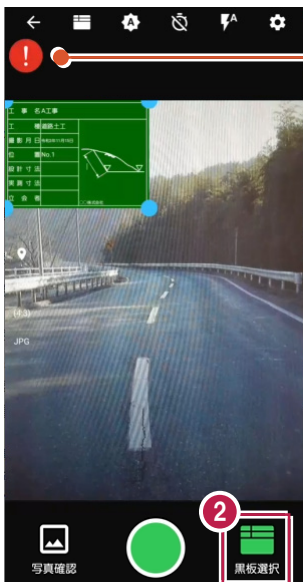


写真撮影画面を起動した際に、各種動作の許可を求めるメッセージが表示されることがあります。

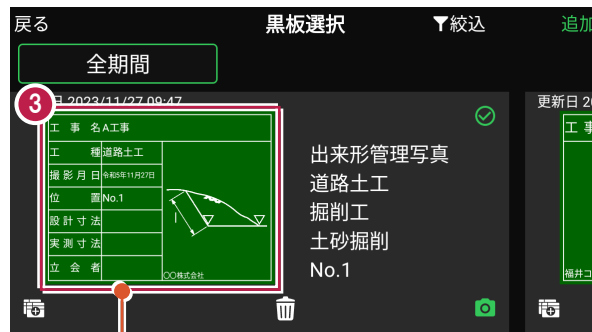
メッセージが表示された場合は、[許可] をタップしてください。

2. [黑板選択] をタップします。

3. 使用する黑板のプレビューをタップします。



エラーがある場合に表示します。
エラーマークをタップするとエラー情報が表示され、
エラー内容をタップすると写真情報を編集できます。

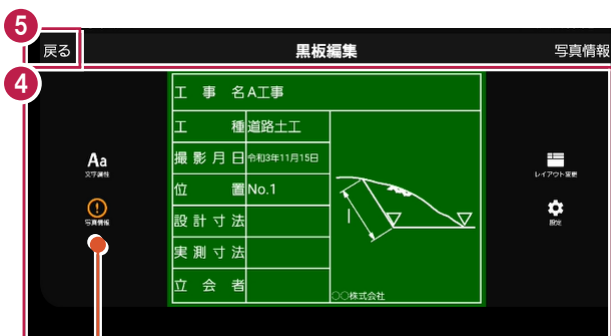


取り込んだ黑板が表示されます。
黑板が複数ある場合は、画面を
左右にスワイプするとスクロールします。

4. 黒板編集画面で文字属性や写真情報を設定します。

(編集方法はヘルプを参照してください。)

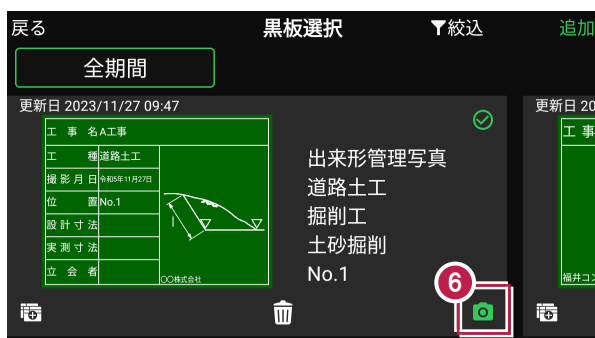
5. [戻る] をタップします。



文字属性モード/写真情報モードを切り替えて、黒板を編集します。

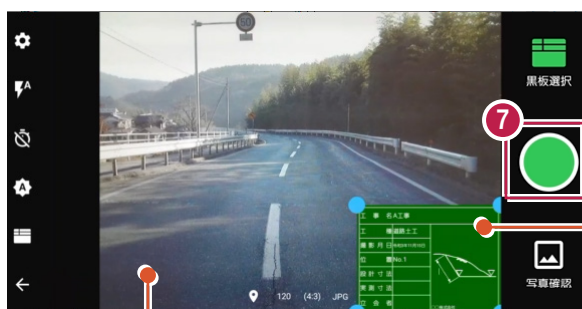
6. カメラボタンをタップします。

写真撮影画面に戻り、黒板が反映されます。



7. 撮影ボタンをタップします。

(写真撮影画面の詳細はヘルプを参照してください。)



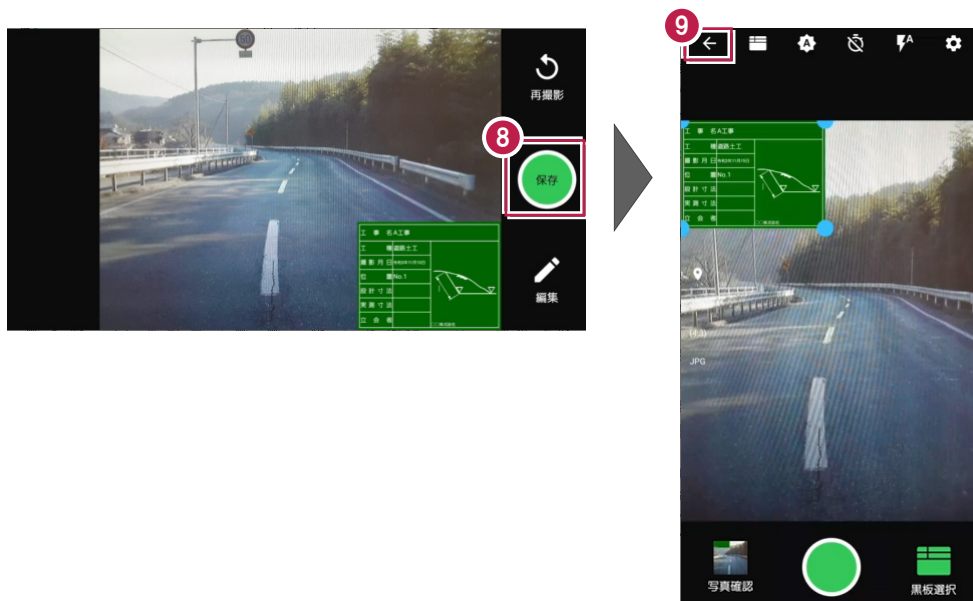
黒板をドラッグすると、移動できます。
初期設定で黒板四隅のトラックをドラッグすると、拡大・縮小できます。

初期設定で端末を回転すると、
写真撮影画面と撮影した写真も同じ向きになります。

8. [保存] をタップします。

写真が保存され、写真撮影画面に戻ります。

9. 戻るボタンをタップして、メインメニュー画面に戻ります。



補足

現場で黒板を作成する場合

現場で黒板を新規作成する場合は、黒板選択画面の [追加] をタップして、黒板レイアウト一覧画面から黒板を選択し、必要に応じて黒板を編集してください。



6

撮影した写真を写真管理に取り込む

EX-TREND武蔵 写真管理に撮影した写真を取り込みます。

写真を出力する

どこでも写真管理PlusからRICOH Driveに写真を出力します。

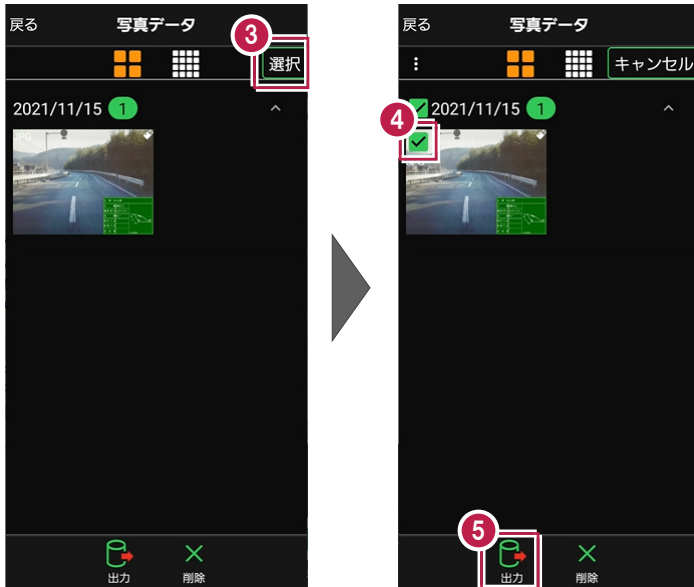
1. どこでも写真管理Plusのメインメニュー画面で [データ管理] をタップします。
2. [写真] をタップします。



3. [選択] をタップします。

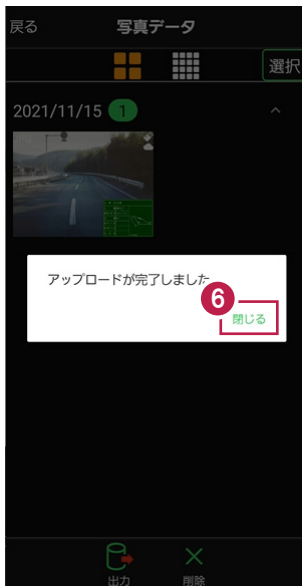
4. 出力する写真のチェックをオンにします。

5. [出力] をタップします。



6. [閉じる] をタップします。

データが出力されます。

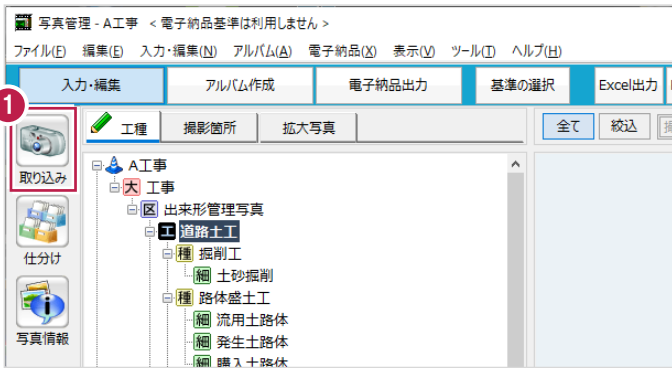


回線の状態により転送が失敗する場合は、写真の選択数を減らして、再度出力してください。

写真を取り込む

EX-TREND武蔵 写真管理にRICOH Driveから写真を取り込みます。

1. 写真管理で「取り込み」をクリックします。



2. 「どこ写Plus」を選択します。

3. 「OK」をクリックします。



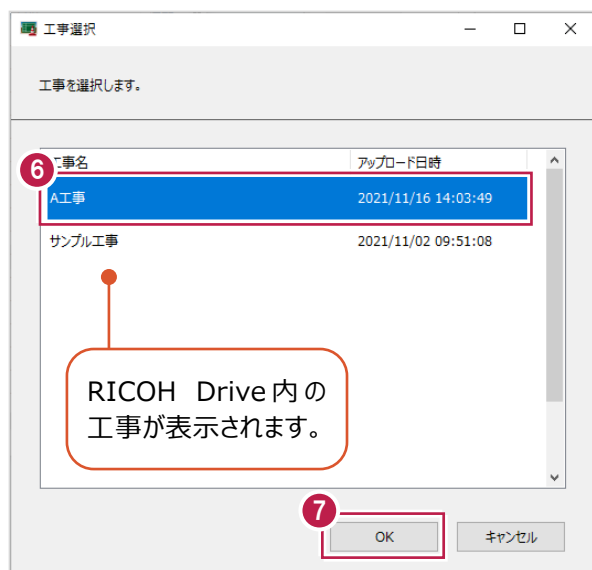
4. 接続先は [RICOH Drive] を選択します。

5. [OK] をクリックします。



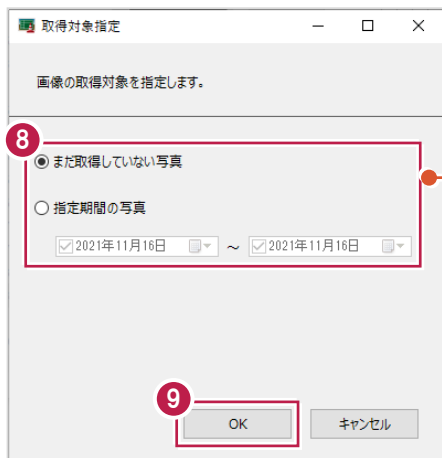
6. 工事を選択します。

7. [OK] をクリックします。



8. 画像の取得対象を選択します。

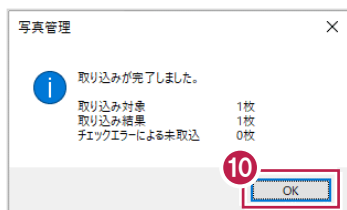
9. [OK] をクリックします。



【まだ取得していない写真】
一度も取得していない写真のみ取り込みます。
【指定期間の写真】
指定した期間内の写真をすべて取り込みます。

10. [OK] をクリックします。

写真が取り込まれます。



写真管理とどこでも写真管理 Plus の工事情報が異なる場合

写真管理とどこでも写真管理Plusの工事名称や受注者名が異なる場合は、工事情報の選択ダイアログが表示されます。どちらを利用するか選択してください。

